

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 2 区分
 【発行日】平成 17 年 2 月 3 日 (2005.2.3)

【公開番号】特開 2004-63965 (P2004-63965A)
 【公開日】平成 16 年 2 月 26 日 (2004.2.26)
 【年通号数】公開・登録公報 2004-008
 【出願番号】特願 2002-222799 (P2002-222799)
 【国際特許分類第 7 版】

H 0 1 L 21/822
 G 1 1 B 5/31
 H 0 1 F 17/00
 H 0 1 F 41/04
 H 0 1 L 27/04

【F I】

H 0 1 L	27/04	L
G 1 1 B	5/31	F
H 0 1 F	17/00	B
H 0 1 F	41/04	C

【手続補正書】
 【提出日】平成 16 年 2 月 26 日 (2004.2.26)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 2 8
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 2 8】

なお、図 6 ないし図 9 には、第 2 フレーム層 4 B の壁部が、基板 1 の上面に対して垂直であり、その結果、線状部分 7 1 の第 1 の部分 7 1 a の側壁も基板 1 の上面に対して垂直になっている例を示している。しかし、本実施の形態は、図 1 0 および図 1 1 に示した各例も含む。図 1 0 および図 1 1 は、いずれも、フレーム 6 を用いて、めっきによってパターン化薄膜 7 を形成した直後の状態を示している。図 1 0 および図 1 1 に示した各例では、いずれも、第 2 フレーム層 4 B の壁部および第 1 の部分 7 1 a の側壁が、基板 1 の上面に垂直な方向に対して傾いている。図 1 0 に示した例では、第 2 フレーム層 4 B において、フレーム 6 の溝部を挟んで対向する 2 つ壁部の間隔は上側ほど小さくなっている。その結果、図 1 0 に示した例では、第 1 の部分 7 1 a の幅は上側ほど小さくなっている。図 1 0 に示した例では、第 2 の部分 7 1 b の幅 W 2 は、第 1 の部分 7 1 a と第 2 の部分 7 1 b との境界位置における第 1 の部分 7 1 a の幅 W 1 よりも大きくなっている。図 1 1 に示した例では、第 2 フレーム層 4 B において、フレーム 6 の溝部を挟んで対向する 2 つ壁部の間隔は上側ほど大きくなっている。その結果、図 1 1 に示した例では、第 1 の部分 7 1 a の幅は上側ほど大きくなっている。図 1 1 に示した例では、第 2 の部分 7 1 b の幅 W 2 は、第 1 の部分 7 1 a と第 2 の部分 7 1 b との境界位置における第 1 の部分 7 1 a の幅 W 1 よりも大きくなっている。